

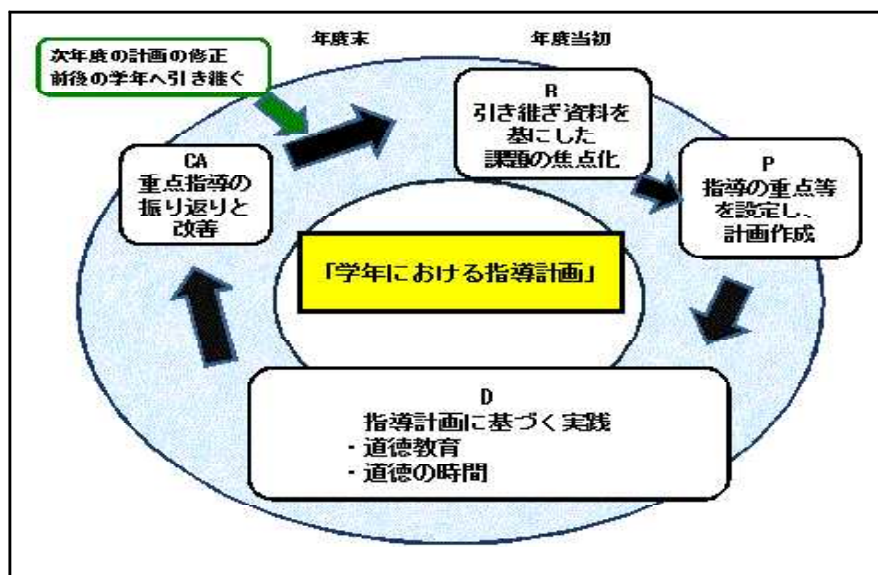
資料編

- 資料1 マネジメントサイクル
- 資料2 道徳教育をマネジメントする話合いの観点
- 資料3 R 情報収集 道徳教育の指導についてのアンケート
- 資料4 P 計画 「学年における指導計画」 作成シート・第3学年・第4学年
- 資料5 D 実践 道徳学習指導案
- 資料6 CA 振り返りと改善 ブロック会議と話し合いシート

資料1

マネジメントサイクル

「学年における指導計画」を基に、学年の道徳教育に取り組むために以下のようにマネジメントサイクルを設定した。



マネジメントサイクルのイメージ図

マネジメントサイクル表（例）

R	ブロックで、年度当初に関係学年の資料（引き継ぎを受けた「学年における指導計画」）を参考に、学年ブロックの課題を焦点化する。						
P	<ul style="list-style-type: none"> ・学年で、学年のめざす児童像、指導の重点（柱）等を設定し、「学年における指導計画」を作成する。 ・ブロックで共通理解を図り、学年の指導に生かす。 						
D	<p>「学年における指導計画」に位置づけた、指導の重点（柱）ごとに、実践をP D C Aで行う。 ブロックで共通理解を図り、学年の指導に生かす。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">重点① P D C A</td> <td>道徳の時間の指導と、日常生活における指導を中心とする。各教科等においても、あいさつの励行を促す。また、家庭との連携を図り、共通理解を図りながら指導を進める。 (例) 礼儀</td> </tr> <tr> <td>重点② P D C A</td> <td>道徳の時間の指導と教科等と関連した指導を行う。家庭・地域社会との連携を図り、指導の効果を高める工夫をする。 (例) 郷土愛</td> </tr> <tr> <td>重点③ P D C A</td> <td>道徳の時間の指導と日常生活における指導を中心とする。多様な場面や児童の実態に応じた指導を段階的に行う。 (例) 正義・勇気</td> </tr> </table>	重点① P D C A	道徳の時間の指導と、日常生活における指導を中心とする。各教科等においても、あいさつの励行を促す。また、家庭との連携を図り、共通理解を図りながら指導を進める。 (例) 礼儀	重点② P D C A	道徳の時間の指導と教科等と関連した指導を行う。家庭・地域社会との連携を図り、指導の効果を高める工夫をする。 (例) 郷土愛	重点③ P D C A	道徳の時間の指導と日常生活における指導を中心とする。多様な場面や児童の実態に応じた指導を段階的に行う。 (例) 正義・勇気
重点① P D C A	道徳の時間の指導と、日常生活における指導を中心とする。各教科等においても、あいさつの励行を促す。また、家庭との連携を図り、共通理解を図りながら指導を進める。 (例) 礼儀						
重点② P D C A	道徳の時間の指導と教科等と関連した指導を行う。家庭・地域社会との連携を図り、指導の効果を高める工夫をする。 (例) 郷土愛						
重点③ P D C A	道徳の時間の指導と日常生活における指導を中心とする。多様な場面や児童の実態に応じた指導を段階的に行う。 (例) 正義・勇気						
CA	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ブロックで、学年の道徳教育の実践を振り返る。 ・「学年における指導計画」を朱書きで加える。前後の学年に引き継ぐ。 						

※実践の成果や課題は他のブロックとも共有することで、学校全体で道徳教育を推進する。

道徳教育をマネジメントする話し合いの観点シート

R 情報収集 (前年度の資料を生かし、学年の課題の洗い出しと焦点化、指導の方向性を定める)

①課題の洗い出しの観点

- 前学年の引き継ぎ資料として、学校評価の結果、担任アンケート（児童の道徳性と指導の実態）、日常の観察から課題としてとらえられることは何か。その原因は何か。

【話題の出し方】

- ・日常の観察は、学級だけでなく、学年としての児童の姿を考えてみましょう。
- ・児童、家庭・地域、指導の実態などの側面から原因を考えてみましょう。

②課題の焦点化の観点

- それぞれとらえた課題の中で、必要性・重要性の高いものは何か。
- 2学年を見通して、学年として育てたい児童の道徳性は何か。

【話題の出し方】

- ・学年全クラスで協働して取り組んでいきたい課題の順位を挙げて絞っていきましょう。

P 計画 (学年の指導計画を作成し、重点化した指導の連携を図る)

①学年の指導の重点を引き出す観点

- 焦点化した課題から考えられるめざす児童像は何か。
- めざす児童像に迫るために、重点的に指導すべきことは何か。

【話題の出し方】

- ・学年としてめざす児童のイメージを具体化してみましょう。
- ・めざす児童に迫るために、重点的に指導していくことは何でしょう。

②指導の重点の具体的な手立てを引き出す観点

- 重点的に指導するための具体的な手立ては何か。

【話題の出し方】

- ・指導の重点について、道徳の時間の具体的な手立ては何でしょう。
- ・日常生活の指導で共通理解したいことを挙げてみましょう。
- ・関連した教科等における工夫は何でしょう。
- ・家庭・地域との効果的な連携のもち方を考えてみましょう。

D 実践 (学年で参画・協働して指導の重点に迫る道徳教育と授業の構想を行う)

①指導の重点に迫る授業づくりの構想の観点 (詳しい内容は次のページに掲載)

- 2学年を通して育てる内容項目を分析し、学年のねらいとする価値は何か。
- ねらいとする価値に迫るための資料は、どんなものがよいか。
- 学習活動は、どんな工夫をするか。

【話題の出し方】

- ・内容項目と児童の実態を擦り合わせると、ねらいとする価値は何でしょう。
- ・児童の実態も踏まえて、副読本や各教科等、ゲストティーチャーなど、どんな資料が適切でしょう。
- ・ねらいとする道徳的価値に迫るための学習活動は何でしょう。

②指導の重点に迫る授業づくりを中心とした道徳教育の手立てを引き出す観点

- ねらいとする価値に迫るための各教育活動における具体的な手立ては何か。

【話題の出し方】

- ・日常生活や教科等、家庭・地域と連携したい手立てを考えてみましょう。

CA 振り返りと改善 (学年ブロックで改善策を導き出し、指導の充実を図る)

①改善策を引き出す学年会の観点

- 学年の実践における成果と課題は、何か。
- 各教育活動において、今後生かせることはどんなことか。

【話題の出し方】

- ・道徳の時間の指導、日常生活等の指導等それぞれの場面で具体的に出してみましょう。

②ブロック会議の観点

- 学年会の改善策から、学年やブロックで今後生かせることはあるか。
- 他のブロックや学校全体に広げる手立てはあるか。

【話題の出し方】

- ・学年ブロックで取り組んだことで、今後生かしていけることは何でしょう。
- ・学年ブロックの取組が、他の学年ブロックに広がり連携が図れる手立ては何でしょう。

①ねらい設定の観点

- 内容項目を焦点化すると、本時で迫りたいことはどんなことか。
- 焦点化した内容項目に迫るために本時で追求すべきこと（資料や学習内容に即して）は何か。
- 道徳的心情、判断力、実践意欲・態度のどれを本時で追求するのか。

【話題の出し方】

- ・児童の実態や資料、学習内容に即して、本時で追求すべきことは、道徳的心情、判断力、実践意欲・態度のどこに中心をおいたらよいでしょう。

②資料分析の観点

- 内容項目に示されている価値がどのように描かれているか。
- 資料に描かれている場面の流れと主人公の心の動きはどのように変化していくか。

【話題の出し方】

- ・主人公の心の中や変化が、どのような道徳的価値を表しているでしょう。

③ねらいに迫る中心場面と中心発問を設定するときの観点

- ねらいに迫る中心場面はどこか。
- 価値を追求させることができる中心発問は何か。

【話題の出し方】

- ・児童の実態や資料の流れから、ねらいに迫る中心場面はどこになると思いますか。
- ・どのように問いかけたら、児童の思考を揺さぶり、深めることができるでしょう。

④中心発問における児童の反応を予想するときの観点

- ねらいに迫っている児童はどのような反応か。

【話題の出し方】

- ・ねらいに迫る児童の意見やつぶやきを、児童の言葉にしてみましょう。

⑤中心発問における補助発問設定の観点

- 児童の思考の流れを予想して、道徳的価値に焦点化させる補助発問は何か。

【話題の出し方】

- ・角度を変えて考えさせる発問を考えてみましょう。
- ・[例] 発問内容を具体化したり、主人公の行動や考えを別の場面と対比させたり、主人公の行動や考えの理由を考えさせたりするための発問を考えてみましょう。

⑥自己を見つめる活動(発問)の観点

- ねらいに迫り、資料とつながる活動であり、児童の実態に即した活動は何か。

【話題の出し方】

- ・児童の実態を踏まえながら、資料と無理なくつながり、ねらいに迫ることができるような活動を考えましょう。

学年で協力すること

- ・資料（副読本、ゲストティーチャー等）を調べる
- ・資料（場面絵等）を作成する
- ・指導案を作成する
- ・ワークシートを作成する
- ・ゲストティーチャーと連絡調整をする

資料3 R情報収集 道徳教育の指導について アンケート（教師用1）（ ）年

2学期からの指導の充実・改善にむけて、これまでの指導を振り返って、最も近いと思われるものを1つ選んでお答えください。

- ①当てはまる ②どちらかという当てはまる ③あまり当てはまらない ④当てはまらない

1	年間指導計画に基づいた時数確保や配列に沿った指導をしている。				
2	授業や日常の観察等から児童の実態を把握し、道徳の時間に生かしている。				
3	児童の実態を基に、学級経営案に道徳教育の指導の重点を立てている。				
4	全教育活動において、道徳の時間を要とした学級における指導の計画を立てている。				
5	自作教材の開発、資料の選択や提示、指導の手立てを工夫している。				
6	道徳の時間における指導の成果と課題について評価の機会を設け、授業や日常生活の指導等に生かしている。				
7	道徳の時間に言語活動を取り入れ、児童が自分の考えを基に表現する機会や手立ての工夫をしている。				
8	児童が自己の生き方を見つめたり、自ら成長を実感したりできるような工夫をしている。				
9	道徳の時間では、必要に応じて体験活動や他教科等との関連を生かした指導をしている。				
10	他教科等や日常生活においても、道徳性の育成を図る指導をしている。				
11	道徳的な視点に立った環境づくり（教室、廊下等の掲示物や言葉遣い）をしている。				
12	必要に応じて、家庭や地域との連携を図る指導（家族の手紙やゲスト・ティーチャー）をしている。				
13	道徳教育全体計画の指導の重点について、学年全体で指導の工夫をしている。				
14	道徳の内容項目に基づいて、2学年を見通した指導をしている。				
15	道徳の指導において、他の教師と情報提供、情報交換（手立て等を出し合う等）をしている。				
16	道徳の時間では、必要に応じて他の教職員と協力して、T.T指導を行っている。				
17	学校評価の結果を児童の実態として捉えて、学校として道徳性を高める指導に生かしている。				
18	道徳教育推進教師を中心に、全教職員で道徳教育に取り組んでいる。				

③、④と答えたものの中で、原因や理由として考えられるものがありましたら、お書きください。

道徳教育の指導について アンケート（教師用2）（ ）年

下の表は、学習指導要領の1・2年の内容項目です。
 ご自分の学級の児童の様子から、最も近いと思うものを一つ選んでお答えください。

①当てはまる ②どちらかという当てはまる ③あまり当てはまらない ④当てはまらない

① ② ③ ④

1 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。				
2 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。				
3 よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。				
4 うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。				
5 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。				
6 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。				
7 友達と仲よくし、助け合う。				
8 日ごろ世話になっている人々に感謝する。				
9 生きることを喜び、生命を大切にすることをもち。				
10 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。				
11 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。				
12 約束や社会のきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。				
13 働くことのよさを感じて、みんなのために働く。				
14 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。				
15 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。				
16 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。				

③④と答えたものの中で、原因や理由として考えられるものがありましたら、お書きください。

道徳教育の指導について アンケート（教師用2）（ ）年

下の表は、学習指導要領の3・4年の内容項目です。
 ご自分の学級の児童の様子から、最も近いと思うものを一つ選んでお答えください。

①当てはまる ②どちらかという当てはまる ③あまり当てはまらない ④当てはまらない

① ② ③ ④

1 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。				
2 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。				
3 正しいと判断したことは、勇気をもって行う。				
4 過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気よく生活する。				
5 自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。				
6 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。				
7 相手のことを思いやり、進んで親切にする。				
8 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。				
9 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。				
10 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。				
11 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。				
12 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。				
13 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。				
14 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。				
15 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。				
16 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる。				
17 郷土の伝統を文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。				
18 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。				

③④と答えたものの中で、原因や理由として考えられるものがありましたら、お書きください。

道徳教育の指導について アンケート（教師用2）（ ）年

下の表は、学習指導要領の5・6年の内容項目です。
ご自分の学級の児童の様子から、最も近いと思うものを一つ選んでお答えください。

①当てはまる ②どちらかという当てはまる ③あまり当てはまらない ④当てはまらない

① ② ③ ④

1 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。				
2 より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。				
3 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。				
4 誠実に、明るい心で楽しく生活する。				
5 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。				
6 自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。				
7 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。				
8 だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。				
9 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。				
10 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。				
11 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。				
12 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。				
13 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする。				
12 美しいものに感動する心や人間の力を越えたものに対する畏敬の念をもつ。				
13 公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にし進んで義務を果たす。				
14 だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。				
15 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、努力して主体的に責任を果たす。				
16 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。				
17 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。				
18 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。				
19 郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。				
20 外国の人々や文化を大切にする心を持ち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。				

③④と答えたものの中で、原因や理由として考えられるものがありましたら、お書きください。

<p>児童の実態</p> <p>①学校評価やアンケート(児童の道徳性や指導の実態)、日常生活の児童の様子等から課題としてとらえられるものを挙げましょう。</p>	<p>目指す児童像</p> <p>②全体計画を確認し、焦点化した課題を基に、学年としてのめざす児童の姿を設定しましょう。</p>	<p>ブロックとしての共通理解</p> <p>④2学年を見通して育てたいことや、ブロックで共通に指導していくこと、学年相互の計画を取り入れたり生かしたりする手立てを示しましょう。</p>
<p>指導の重点</p> <p>③めざす児童像に迫るために、学年として重点的に指導していくことを設定しましょう。</p>		

月	4	5	6	7	8 9	10	11	12	1	2	3	
主題名	<p>⑤年間計画から確認しましょう。指導の重点となった主題名を明示し、他教科等との関連を図る場合は指導時期を考慮しましょう。</p>											
道徳の時間	<p>⑥重点的に指導するための具体的な手立てを示しましょう。</p> <p>重点① 「 」</p>			<p>⑦指導の重点の番号と内容項目、主題名を明示しましょう。</p> <p>重点② 「 」</p>			<p>重点③ 「 」</p>					
日常生活	<p>⑧指導の重点ごとに、各教育活動における具体的な手立てを示しましょう。学年相互の計画や実践を取り入れ、生かしたりしたことを加えましょう。</p>			<p>⑧児童の実態や指導の場面等に応じた段階的な指導など、指導の重点を具体化する手立てを示しましょう。</p>			<p>⑧教科等のねらいを踏まえながら、指導の重点を具体化する活動の場面や工夫を示しましょう。</p>					
家庭・地域との連携	<p>⑧児童や家庭の実態把握、指導の協力の依頼、指導の様子を知らせる等の手立てを示しましょう。</p>			<p>⑨実践したことを評価し、成果と課題を明確にしましょう。</p>								
評価	<p>⑨実践したことを評価し、成果と課題を明確にしましょう。</p>											

学年における指導計画（第3学年）

児童の実態

学校評価やアンケート(児童の道徳性や指導の実態)、日常生活の児童の様子等から課題としてとらえられるものを挙げる。

目指す児童像

正しい判断で行動し、自分のまわりの人や地域を大切にする子

中学年としての共通理解

○教科等と関連した指導が必要
 ・社会科や総合的な学習の時間とかかわりが深いので、関連させることができる。
 ○家庭や地域社会との連携が大切
 ・家族の地域に関する知識やかかわりについて実態を把握する。
 ・地域の行事や活動、ゲストティーチャーについて調べる。

指導の重点

①進んであいさつをし、だれに対しても温かく接する児童を育てる
 ②自分達の住む地域のよさを知り、大切にしていこうとする児童を育てる
 ③正しく判断し、間違いは素直に認め、友達の過ちを注意できる児童を育てる

月	4	5	6	7	8 9	10	11	12	1	2	3	
主題名	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えで困っている人に自然を守る 	<ul style="list-style-type: none"> クラスのいいところ 本当の友達 きまりを守り気持ちよく 隠さず正直に 	①礼儀正しい振る舞い <ul style="list-style-type: none"> みんなで使う物 日本の伝統 くやしさをバネに 	①気持ちをこめて <ul style="list-style-type: none"> 身近な自然を大切に 	<ul style="list-style-type: none"> 涙の友情 かけがえない命 できなかつた親切 	<ul style="list-style-type: none"> みんなのために ②伝統を受け継ぐ 感謝の気持ち 気高い行い 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のよさ 節度ある生活 命を救いたい 決まりを守るといふことは 	<ul style="list-style-type: none"> 働くって楽しい 母の愛 かけがえない命 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えで行動 素直な心で言えなかった私 ③今度は言える 	<ul style="list-style-type: none"> 支え合う心 目標に向かって 友達と分け合って友情を深める 	<ul style="list-style-type: none"> さりげない親切 温かい家族 	
道徳の時間	<ul style="list-style-type: none"> ねらいとする価値に関わる指導観を明確にし、資料の活用や工夫をする。 学習指導過程や学習活動の工夫をする。 展開前段で、児童の実態を踏まえたねらいに迫る展開等の工夫（中心場面、中心発問、基本発問、補助発問）をする。 児童の実態を踏まえて、後段の活動の工夫をする。 											
日常生活	重点①礼儀「礼儀正しい振る舞い」「気持ちをこめて」			重点②郷土愛「伝統を受け継ぐ」			重点③正義・勇気「今度は言える」					
教科等や特色教育活動	① 自分から進んであいさつができるように、声をかけたり、できた子を賞賛したりする。			② 朝の会等で「ふるさとじまん」を担当や児童が伝え合うことにより、郷土のよさを知り、関心をもたせる。			③ 自分で判断させたいときは選択肢を与えたり、判断に迷うときは、自分の考えを友だちや担任に言ってから行動するように指導する。					
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 重点的に行っている指導について、学年便り等で、学校の様子を知らせたり、協力のお願いやお礼を伝える。 家庭での児童の様子を聞いたり、学校での指導に生かす。 			② 家族が地域とかかわったことを児童に話してもらい、「ふるさとじまんカード」に書けるようにする。地域の活動等について家庭でも話題にさせていただきようお願いします。			③ 家庭でも、児童が自分で考える時間を設定してもらい、正しく判断できたときにほめてもらう。					
評価												

学年における指導計画（第4学年）

児童の実態

学校評価やアンケート(児童の道徳性や指導の実態)、日常生活の児童の様子等から課題としてとらえられるものを挙げる。

目指す児童像

進んでみんなのために働き、自分のまわりの人や郷土を大切に
する子

指導の重点

① まわりの人のことを思いやり、進んで親切にする児童を育てる
② 郷土の人々の生活、文化、伝統に親しみ、大切に
する児童を育てる
③ 自分から進んで考え、行動し、みんなのために働く児童を育てる

中学年としての共通理解

○教科等と関連した指導が必要
・社会科や総合的な学習の時間とかかわりが深いので、関連させることができる。
○家庭や地域社会との連携が大切
・家族の地域に関する知識やかかわりについて実態を把握する。
・地域の行事や活動、ゲストティーチャーについて調べる。

月	4	5	6	7	8 9	10	11	12	1	2	3	
主題名	<ul style="list-style-type: none"> 度を過ぎずに 心を開いて 美しい心 	<ul style="list-style-type: none"> 心を見せる 山の自然を守りたい みんなのきまり 父母の愛 	①助け合って <ul style="list-style-type: none"> 自分のことは自分で 得意なことを伸ばそう 日本のいいところ 	①心遣い <ul style="list-style-type: none"> ルール違反 	<ul style="list-style-type: none"> 正直に生きる 不正な行い 大切な家族 	<ul style="list-style-type: none"> 命の尊さを考える ②郷土のために 信頼のきずな 生き物を大切に 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の積み重ね 公共のために 外国の友達 他校生と仲よく 	③仕事の楽しさ <ul style="list-style-type: none"> わかり合える友達 人命第一 	<ul style="list-style-type: none"> 本当の勇氣 真心を込めて ③ぼくの仕事 	<ul style="list-style-type: none"> 命の尊さ ①温かい心 どうしたらよいか考えて 	<ul style="list-style-type: none"> 好きこそものの上手なれ 失敗に負けないで 	
道徳の時間	<ul style="list-style-type: none"> ねらいとする価値に関わる指導観を明確にし、資料の活用や工夫をする。 学習指導過程や学習活動の工夫。 展開前段で、児童の実態を踏まえたねらいに迫る展開等の工夫（中心場面、中心発問、基本発問、補助発問）をする。 児童の実態を踏まえて、後段の活動の工夫をする。 											
日常生活	重点① 思いやり「助け合って」「心遣い」「温かい心」			重点② 郷土愛「郷土のために」			重点③ 勤労「仕事の楽しさ」「ぼくの仕事」					
教科等や特色ある教育活動	① 相手の立場や気持ちを考える場面での具体的な指導（声のかけ方、行動の仕方）をする。			② 朝の会等で、担任がかかわった地域の話をするにより、児童に地域への関心をもたせるとともに、地域よさに気付くようにする。			③ 帰りの会等で「ボランティアタイム」を設定し、自分の係の仕事やクラスのためになることを見つけ、進んで働くよう指導する。					
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 重点的に行っている指導について、学年便り等で、学校の様子を知らせたり、協力のお願いやお礼を伝える。 家庭での児童の様子を聞いたり、学校での指導に生かす。 			<ul style="list-style-type: none"> 地域に尽力した（している）人についてアンケート等で家族に聞き、家庭でも話題にしてもらう。地域のために活動している人にゲストティーチャーとして、授業で話をさせていただく。 			<ul style="list-style-type: none"> 学級のグループや中学年で活動するときは、自分にできることを進んで考え、行動するようにする。 「勤労奉仕活動」では、進んで草取りなどの活動を行い、自分で仕事を見つけて働くようにする。 					
評価												

道徳学習指導案

指導日時 平成23年10月20日(木)第2校時

指導者 武井 貞子

- 1 主題名 伝統を受け継ぐ 4-(5) 郷土愛
- 2 資料名 祭りだいこ 出典 3年生の道徳 (文溪堂)
- 3 ねらい 郷土の行事などのよさに気付き、郷土の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

郷土とは、どんなときもありのままの自分を受け入れ、包み、励ましてくれるところである。その中で人は、素直な気持ちで自分を見つめなおすことができ、明日に生きる意欲や希望が湧いてくるのである。また、郷土の人々との交流により、人の温かさ、ぬくもりを知ることができる。このように郷土は、自己の形成に大きな役割を果たすとともに、一生に渡って精神的な支えとなるものである。

しかし、現代社会において、核家族の増加、少子化、人とのかかわりを好まない人が増えているなど、地域社会における人々の結び付きが減少し、郷土本来がもつ意味合いや活気が失われつつあるように思われる。

だからこそ、今、郷土の人々と触れあい、優れた文化等に触れあうことにより、地域の行事や自然などのよさを知ることは、とても大切なことである。そうした触れあいや交流の中で、郷土の行事や文化、人々にかかわっていこうとする気持ち、郷土に親しもうとする心を育てていくことができるのである。

そこで、児童の住む町にある行事や施設等にかかわったり、過ごしたりしたときの様子を振り返り発表し合うことにより、町の行事などのよさに気付き、郷土の人々や文化に親しもうとする気持ちを育てることができると考えた。

(2) 児童の実態について

この時期の児童は、自分のことや家族、友達のことに関心が留まり、地域のことに関心をもつ子は少ない。また、共働き等により多忙となった保護者達の地域にかかわる姿勢は、積極的とはいえない。地域においても、少子化による行事の縮小、消滅等がある。そのため、地域の行事等には、進んで参加する児童が少数いる反面、参加したことがない子や家族がかかわっている様子を見たことのない児童もいる。

2年生の生活科の学習では、町探検をし、地域の施設やお店などを調べ、地域に対する関心をもつことができた。3年生では、社会科で、地域の販売活動を行っているお店の工夫等について学習し、今後は生産活動を行っている農家について学習する予定である。それぞれの仕事が、自分たちの生活に役立っていることに気付くことができると考える。また、総合的な学習の時間では、グループごとに施設等を調べる学習を進めており、地域に対する興味・関心も徐々に高まってきている。

このような実態の中で、身近な資料から、地域の行事等に対する関心を持ち、地域のよさに気付き、自分たちの住む町を大切にしていこうとする心を育てることが必要である。

(3) 資料について

主人公の良子が、父からおはやしの参加を勧められ、迷うが、親友の山本さんと練習に参加しているうちに、地域の人々が熱心に取り組んでいることや、祭りを心待ちにしていることに気付き、練習に対する自分の姿勢を見直す。祭りの日、夢中で太鼓を叩きながら、祭りに参加した楽

しさを達成感を味わい、今後も継承していこうとする。3つの場面を通して、父からおはやしの話を受けた良子が、村の祭りに参加し、祭りに対するこれからの自分を考えた心の動きを追っていくことで、郷土への意識が高まっていく様子に共感させることができるとともに、道徳的価値の自覚を深めていくのに適切な資料である。祭りの練習に集まった人々の様子や、祭りの日の良子の達成感等をとらえていくことにより、郷土の行事のよさに気付かせたい。

5 指導方針

(1) 事前指導

- ・ねらいに関わる児童の意識を把握するためにアンケート調査を行う。
- ・担任が自分とかかわりのあった地域での思い出等を話し、地域のよさが分かるようにする。
- ・総合的な学習の時間の関連学習として、家族が地域とかかわった体験談を聞き、児童が学級の友達に伝える活動を行う。

(2) 本時

[出会う]

- ・お祭りで太鼓を叩いたり、山車を引いている写真等を見せて、資料への興味付けを行うとともに、祭りは地域で行っている行事であることを示し、価値への方向付けをする。

[深める]

- ・学年での話合いで、児童の実態を基にねらいを設定し、そのねらいに沿って、中心場面を妹を誘う場面とした。中心発問において、ねらいに迫る児童の反応を出し合い、共通理解を図った。
※学年会では、良子がおはやしをする場面では、練習してきた達成感に児童の意識の大勢が流れてしまうことが予想されることと、より高い価値をめざすために妹を誘う場面を中心とした方がよいということになった。また、別の視点からとらえた中心発問が出されるなど話合いが深まった。
- ・ねらいに迫る児童の反応が得られない場合には、なぜ、またお祭りにでたいのか、祭りに参加したらどんなことをしたいのかを補助発問とし、学年共通の手立てとした。

[見つめる]

- ・自分たちの町にある行事や場所に行ったことがあるか、そこで何をし、どう思ったかについて想起させ、ワークシートに書かせる活動を学年共通の手立てとして行う。想起しやすいように、町の祭りなどの具体例を挙げる。書いたことを発表しあい、それぞれの行事等のよさを学級全体で共有し、自分たちの町に親しみがもてるようにする。
※自分たちの町で自慢したいことや、町みんなが楽しめること（ところ）など多様な活動が出されて検討したが、児童の実態やねらいを踏まえて、行った行事や場所等での様子を紹介する活動となった。
- ・友達の発表を聞いて、それぞれの場所等や町について思ったこと、気付いたことを挙げることにより、町全体のよさにも気づき、親しんでいこうとする気持ちももてるようにする。

[あたためる]

- ・教師の住んでいる町の行事に行ったことをし、今後も親しんでいこうとする思いを話す。

(3) 事後指導

- ・家族が地域とかかわった思い出を、児童が友達に伝える活動を継続していく。
- ・児童の郷土への意識の変容をとらえるために、地域に関するアンケートを行う。

6 他領域との関連等

社会科の「わたしたちの暮らしと商店」や「わたしたちの暮らしとものをつくるしごと」において、地域の販売にかかわる仕事や生産にかかわる仕事の特色や工夫を学習し、自分たちの生活に役立っていることに気付くようにする。また、総合的な学習の時間の「この町大好き探検隊」の学習において、調べたい施設等をグループで自主的に調べることを通して、地域の施設、自然環境、文化を知り、そのよさに気付くようにする。

7 本時の学習

(1) 本時の目標

資料で良子が村の祭りで妹を誘おうとしたときの気持ちを考えた後、自分たちの町の行事等にかかわったことを発表し合うことにより、町の行事などのよさを知り、町の人々や文化に親しんでいこうとする心を育てる。

(2) 準備

場面絵、町の祭りや施設等の写真、フラッシュカード（発問を端的に示した黒板提示用カード）

○発問 ◎中心発問

	学習活動	主な発問と予想される反応	指導・援助の留意点
出 会 う 2 分	○お祭りについて経験したことや知っていることを想起する。	○お祭りでは、どんなことをしますか。 ・おみこしを担ぐ。 ・太鼓をたたく。 ・踊りを踊る。	・お祭りですることなどを想起させ、資料への導入を図るとともに、地域の行事であることを示し、価値への方向付けをする。
		自分たちの町について考えよう	
深 め る 23 分	<ul style="list-style-type: none"> ・資料「祭りだいいこ」を聞く。 ○父におはやしを勧められたときの良子の気持ちを考える。 ○おはやしの練習をしながら、良子が思ったことを考える。 ○にっこりしたときの良子の心の中を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○父におはやしを勧められ「少し考えさせてね。」と言ったときの良子はどんなことを思っていたでしょう。 ・わたしに太鼓ができるかな。 ・山車を引くのより、太鼓をたたく方が楽しいだろうな。 ・得意そうにおはやしをしている上級生がうらやましかったな。 ・一人でははずかしいな。 ○おはやしの練習をしながら、良子はどんなことを思ったでしょう。 ・思ったより難しいな。 ・親切に教えてくれる人がいるので、調子がでてきた。 ・練習なのに、大勢の人達は熱心だな。 ・みんなが祭りを楽しみにしているんだな。 ・カッコいいとか思っていた今までの自分が恥ずかしい。 ・これから、頑張って練習しよう。 ○山本さんと顔を見合わせて思わずにっこりした良子は、どんなことを思っていたのでしょうか。 ・頑張って練習してきてよかった。 ・祭りの主役になったみたいでいい気持ち。 ・こんなに盛り上がる祭りにでられてうれしい。 ・祭りって楽しいものなんだな。 ・みんなが集まると盛り上がり、すごいな。 ・村の祭りは、自慢だな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良子の気持ちを考えながら資料を聞くように促す。 ・友だちの意見と比べながら発言するように促す。 ・いろいろな思いで迷っている良子の気持ちをとらえさせる。 ・集まっている大勢の人を見た良子の気持ちを考えさせることにより、村の人たちの祭りに対する熱い思いや、自分たちに寄せる期待に良子が気付き、祭りへの思いが変化していく様子をとらえさせる。 ・山車の村中に響く威勢のよい音、熱気、遠くから戻ってきた人達、熱気に満ちたみんなの顔、山車と人波のうねりなどから、祭りが最高潮になっている様子を思い描けようにし、祭りに対し高まっていく良子の気持ちに共感できるようにする。 ・祭りに参加し太鼓を叩いた成就感や、大勢の人と祭りを楽しめた喜びを味わっている良子の気持ちに共感させるとともに、祭りのよさに気付き、良子の郷土への思いが高まっている

	○妹をおはやし さそおうと思 っている良子 の心の中を考 える。	◎二年後に妹をさそおうと思っ たとき、良子はどんなことを考 えているのでしょ う。 ・今度は妹と一緒に おはやしをやり たい。 ・楽しい祭りだっ たから、またや りたい。 ・妹とおはやし をして、祭りの 楽しさを教え たい。 ・四代目として おはやしを続 けていこう。 ・みんなで祭 りを盛り上げ たい。 ・楽しい祭り にしたい。	ことに気付かせる。 ・郷土への思い が高まってい ったことによ り、進んで祭 りに参加し、 その伝統を 継いでいこう とする気持 ちになった ことに気付 かせる。 ・なぜまたお 祭りにでたい のか、祭りに でてどうし たいのか、ど んな祭りに したいのか 等を補助発 問し、祭り に親しみを もち、進ん で参加しよ うとする良 子の気持ち がとらえら れるように する。
見 つ め る 17 分	○自分たちの 町の人達が 楽しめる行 事や場所 で、過ごし たことを発 表し合う。 ○友達の発表 を聞いて、 してみたい ことなどを 発表する。	○町にある行 事や活動、 場所などで 、行ってよ かったなと 思うところ があります か。どんな ことをしま したか。 ・町の祭り では、氷の 御神輿が見 られてすご いなと思っ た。 ・沼で家族 とお弁当を 食べたり、 アスレック で遊んだり して、いい 思い出が できた。ま た行きたい。 ・グリーン アリーナで 、たくさん の人とバド ミントン をして楽し めた。 ○友達の発表 を聞いて、 してみたい なところ はありますか 。 ・山に行 ってカタク リを見たい 。 ・運動場の 芝生で遊び たいな。 ・ひまわり 祭りで、い っぱいのひ まわりを見 てきたい。	・区や町の祭 りに行った 様子やその ときの思い を聞き、祭 りのよさに 気付かせ、 親しみがも てるように する。 ・他の行事 や施設、場 所を想起し やすいよう に、いくつ か例示す る。 ・過ごした 場所でだれ と何をして きたか、そ のときの思 いも想起す ることによ り、地域の よさに気付 き、親し みがもてる ようにす る。 ・過ごした 様子を紹 介し合うこ とで、それ ぞれのよ さを学級全 体で共有し 、地域に親 しむ心をも てるように する。 ・友達の発 表から、行 ってしたい こと等につ いて聞き、 友達が過 ごしたと ころに対 しても、か かわり親 しもうと する気持 ちになる ようにす る。
あ た た め る 3 分	○担任の住 んでいる 町の話 を聞く。	○先生の住 んでいる 町の好 きなと ころ につ いて 話 を し ま す。	・教師の住 んでいる 町の行 事を紹 介し、 これか らも町 の行事 などに 親しん でいき たいこ とを話 す。
評価の観点 ○郷土のよさを 知り、郷土 の人々 や文化 に親し んでい こうと する気 持 ちを育 てるこ とが でき たか。			

道徳学習指導案

指導日時 平成23年10月18日(火)第3校時

指導者 武井 貞子

- 1 主題名 郷土のために 4-(5) 郷土愛
- 2 資料名 岡上景能 (社会科副読本)
- 3 ねらい

岡上景能が村のために尽くしたことや、景能に感謝しその思いを受け継いでいく村人達の思いを確かめた後、自分たちの住む町(市)に尽くした人や尽くしている人達の活動を知り、郷土のためにできることを考えることにより、郷土を大切にしようとする心情を育てる。

※自分たちの住む町に限定した郷土愛の学習を行うという視点を基にねらいや構成を話し合った。そのために地域の尽力者を知っている人、地域のために活動している人という視点でゲストティーチャーを調べて活動内容を話し合っていた。

(準備等 場面絵、ワークシート、町の祭りや施設等の写真、フラッシュカード)

	学習活動	主な発問と予想される反応	指導・援助の留意点
出 会 う 3 分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">自分たちの町(市)のことを考えよう</p> <p>○社会科で学習した岡上景能について、思い出す。</p>	<p>○岡上景能は、どんなことをしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水路をひいて、荒地を田や畑に変えようとした。 ・農地を作り、新しい村を作った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の「徳べえざくら」で、岐阜県の徳べえが、桜を植えて大水から村を守ったことを想起させ、本時は、自分たちの町(市)について学習することを示す。 ・岡上景能が笠懸野を開くために、尽力したことを思い出させ、価値への方向付けをする。
と ら え る 13 分	<p>○荒地を田や畑に変えたいと思った理由を考える。</p> <p>○岡登霊神社が今でも祀られているわけを考える。</p>	<p>○岡上景能は、なぜ用水路を引いたのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒地を田や畑にして、作物がとれるようにしたい。 ・村の人々のくらしをよくしたい。 <p>○なぜ、岡登霊神社(神様)として祀られているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景能が人々のために、用水路を造ってくれたから。 ・景能がしてくれたことを有り難いと思っている。 ・景能は笠懸野の人々のために尽くしてくれたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・笠懸野の人々のために用水路を引きたいと考えた景能の思いに気付かせる。 ・景能の功績や地域への思いが、人々に理解され、感謝されていたことに気付かせる。 ・後に再び用水路が引かれ、今でも田畑を潤していることから、景能の思いが引き継がれていることに気付かせる。
見 つ め る 27 分	<p>○自分たちの住む地域のためにできそうなこと、してみたいことを考えて、発表し合う。</p>	<p>○大間々の大火と大間々駅のトイレ掃除の話をしてします。</p> <p>◎町(市)のために、自分ができそうなこと、してみたいことは何でしょう。どんな気持ち(思い)でしていきたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒神山が好きだからから、芝刈りなどをして手入れしたい。 ・みんながなかよくくらす町にしたいから、あいさつをする。 ・気持ちのよいきれいな町にしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・景能が村のことを思って用水路を引いてくれたように、この町や市を大切にしていきたいと思って、地域のために働いてくれた人がいることを示す。 ・ゲストティーチャーの松崎さんに、大間々の大火のときの話や大間々駅のトイレ掃除の話をしていただく。 ・地域を愛し、大切に思う心があるから、地域のためになる行動ができることを話していただき、自分たちの地域でも、今現在、尽力している人がいることに

		<p>から、ごみをひろったり、掃除をしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい祭りにしたいから、みんなで踊りやおはやしなどに参加して、盛り上げる。 ・明るくきれいな町にしたいから、いろいろなところをに花を植えたい。 ・安心して過ごせる町にしたいから、パトロールなどをする。 	<p>気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒神山を大切に思う気持ちから、荒神山を整備する活動を友の会の人達が行っていることなどを例示し、どんな思いからどんなことをしていきたいか考えさせる。 ・どんな町にしたいか、どんな行事にしたいかなども取り上げ、児童の町への思いを引き出せるようにする。
あ た た め る 2 分	○まとめを聞く。	○過去のいろいろな人の力で、この町（市）が今在り、現在の人々の力が、未来の町や市をつくっていくのですね。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの松崎さんに、地域はいろいろな人の力でなりたっていることと、これからの町、市をつくっていく子どもたちへの期待を話していただく。
<p>評価の観点</p> <p>○自分たちの住む町（市）を大切にしていこうとする気持ちをもつことができたか。</p>			

資料6 CA振り返りと改善

【中学年ブロック会議】の記録より

中学年ブロックで取り組んだことを、今後生かしていけたら・・・と思っています。

先週の学年会を基にして → 学年として、ブロックとして、今後生かせることは・・・

1 郷土について

①道徳の授業では

Q 授業を組み立てるときは？

A 学年としてとらえる道徳的価値と児童の実態を踏まえてねらいを設定する。

A 価値項目の明確化。

A 価値に迫るための発問。補助発問の重要性。

A ねらいとする価値とぶれない発問。特に自己を見つめる場面。

Q 郷土愛の学習をして

A 地域の行事、施設、人材の教材化。

Q 他には、授業づくりや実践をして学び得たことから？

A 場面絵の提示方法等資料提示の工夫。

A 資料を読んでおくなど、事前指導が大切。

②他教科等（社会科、総合的な学習の時間）では

Q 今後の社会科や総合で郷土のよさを理解し、大切にす気持ちをもてるような活動はあるか。3年は？

A 総合で、施設等のそれぞれのよさを伝えるようにまとめ、発表会をもつ。

Q 3年社会科「わたしたちのくらしとものをつくる仕事」

「かわってきた人々のくらし（1）古い道具と昔のくらし（2）残したいもの伝えたいもの」

4年社会科「ごみと住みよいくらし」

で、生かせることはないか？

A 社会科でトマト農家の学習をすることで、地域の名産を作るための農家の工夫、苦労を学ぶことも郷土愛の学習につながる。

A 地域に尽力した先人の思いがわかる学習とリンクさせる。

A 関連を図った横断的な構成。

③日常生活では

Q 児童が地域の行事や活動にかかわったことの把握が不十分で、児童相互にもよく伝わっているだろうか。

A 事後のアンケートで把握する。

A 児童が地域の行事や活動にかかわったことを伝える機会をもつ

A 地域のよさや尽力している人、地域と自分とのかかわりを意識させ、話題として取り上げる。メディアも活用する。

④家庭・地域との連携では

Q 郷土の学習を重点として取り組んだことを家庭は周知しているか。協力していただいたことは？

A 学級便り、学年便り等で学習したことを知らせる。

A ふるさと自慢やアンケートで協力していただいたお礼を学級便り等で載せる。

A 家庭で話題にしてもらえるような工夫。

A ゲストティーチャーの有効活用。

⑤他のブロックや学校全体に広げるには

Q 道徳、社会科、総合的な学習の時間で学習した（する）ことで、伝えられることはあるだろうか。

A 3年の総合でまとめたことを2学年に伝える。

A 3年の総合で学習したことを廊下等に掲示したりして他学年にも広げる。

A 授業を他の学年の先生方にも見てもらいたかった。

実践を知らせ、来年度に生かす。（資料、ゲストティーチャー等）

Q 先生方に知っていただき、生かしてもらう具体的な方法は？

A 全体研修会等で伝え、共通理解を図る。

A 実践した学年の課題や指導の重点などを次学年の担任へ引き継ぐ。

A 具体的な実践内容は、来年度同学年にとっても参考になる。

A 改善計画、指導計画等の資料を役立ててもらおう。

2 各学年の3つの指導の重点（道徳の時間・各教科等・日常生活・家庭・地域との連携等）について

3年の指導の重点

- ①自分から進んであいさつをし、だれに対しても温かく接する。
- ②自分たちの住む地域のよさを知り、大切にしていこうとする。
- ③正しく判断し、間違いは素直に認め、友達の過ちは勇気を出して注意する。

【よかったところ】

- ①帰りの会で、友だちのよかったところについて発表し合ってきたので、だれに対しても温かく接することができるようになってきている。
- ③・まず自分で考える→友だちと相談する→先生に聞くという判断の順序を指導したことにより、「～していますか？」が「～します」に変わってきた。
 - ・悪いことをしたとき、正直に言えたことをほめることで、間違いを認められるようになってきた。
 - ・友だちに注意されたときに、受け入れ「ありがとう」という気持ちをもち伝えるように指導してきたので、相手の注意を素直に受け入れられるようになってきた。
- ①～③道徳の時間で、重点を意識してねらいを明確にして指導し、自己を見つめられるようにした。

【課題】

- ①あいさつ強化デー等、意識づけたり、きっかけをもたせる工夫が必要。
- ③道徳の時間で、正義・勇気の指導を行ったが、資料に時間を取りすぎてしまい、十分に自己を見つめる活動がで きなかつた。
- ①～③継続した指導が必要。

4年の指導の重点

- ①自分のまわりの人のことを思いやり、進んで親切にする。
- ②郷土の人々の生活、文化、伝統に親しみ、大切にする。
- ③自分から進んで考え、行動し、みんなのために働く。

【よかったところ】

- ①③帰りの会の「1分間ボランティアタイム」の継続指導。みんなのためになることを見つけて進んで動けるようになった。
- ①③運動会の練習で声をかけたり賞賛したりして、用具の準備や片付け等の場面で、自分の分担が終わった子は周囲を見て進んで手伝うことができた。
- ②社会科とリンクして学習したことが、両方の学習をより深めることができた。
- ③荒神山登山や運動会の表現などブロックでの活動場面では、上学年としての自覚をもって進んで取り組めた。
- ③トイレのスリッパをそろえる、ごみぎ歩き等、日常や学年朝礼での指導で効果を上げている。

【課題】

- ①～③継続的な指導。
- ②・担任も児童の住む郷土のことを知り、郷土愛をもつことが必要。
 - ・地域の行事や活動、尽力している人材等について、伝え広げていく。

【3・4年ブロック会議】

C (振り返り)・A (改善)

学年として、ブロックとして、今後生かせることは・・・？

1 郷土について

	学年として	ブロックとして
①授業		
②他教科等 社会科,総合		
③日常生活		
④家庭・地域 との連携		
⑤ブロック間 学校全体へ		

2 各学年の3つの指導の重点（道徳の時間・各教科等・日常生活・家庭・地域との連携等）について

3年の指導の重点

- ①自分から進んであいさつをし、だれに対しても温かく接する。
- ②自分たちの住む地域のよさを知り、大切にしていこうとする。
- ③正しく判断し、間違いは素直に認め、友達の過ちは勇気を出して注意する。

よかったところ	課題

4年の指導の重点

- ①自分のまわりの人のことを思いやり、進んで親切にする。
- ②郷土の人々の生活、文化、伝統に親しみ、大切にする。
- ③自分から進んで考え、行動し、みんなのために働く。

よかったところ	課題

今後生かせることは・・・？

	学年として	ブロックとして
授業		
他教科等		
日常生活		
家庭・地域 との連携		
ブロック間 学校全体へ		